

多様な人財の確保・活用 (ダイバーシティ&インクルージョン)



人財確保とD&Iの考え方

J-POWERグループは、多様な個性を持った人財の活躍を通じて、持続可能な成長を目指しています。性別、国籍、人種、職歴、経験、年齢、障がいの有無などに関係なく、幅広い人財が持てる力を十分に発揮し、活躍できる制度・職場環境づくりを進めています。

持続可能な成長に向けて

- ・人財の安定的な採用によるグループ事業基盤の強化
- ・多様な個性や専門性を有する従業員との共生による組織力の強化、生産性・競争力の向上、イノベーションの推進
- ・多様な人財に対する雇用確保・活躍の場の提供

ダイバーシティ推進の取り組み

当社は、ダイバーシティ推進の専任組織を設置しており、ダイバーシティの推進、研修・育成、人事労務制度検討などの各機能を集約し、一体性・一貫性のある施策や制度・職場環境づくりに取り組んでいます。

KPI設定

当社はグローバル社員のうち役付社員を中核人財と位置付けています。コーポレートガバナンス・コードの原則に基づき、女性、外国人および経験者採用者の2030年までの役付社員への登用目標を設定しています。

女性活躍推進

女性の役付社員を2021年度(24名)の3倍以上とする目標を設定しています。当社およびグループ会社は、発電所勤務を中心とした技術系の社員の比率が高く、新卒採用時も技術系において男性社員の割合が高くなる傾向があります。ダイバーシティ推進を図るため、女性の採用増加を目指しており、例えば理系の女子学生を対象としたキャリア支援イベントなどを通じて当社の技術系女性社員の活躍を積極的に紹介するなど、理系の女子学生に安心して入社してもらえるよう取り組みを実施しています。

なお、2023年度以降入社の新卒採用者に占める女性比率は従来比倍増の20%以上を目標としており、2023年4月に入社した当社の新卒採用者は、全100名のうち女性

21名(21.0%)となっています。

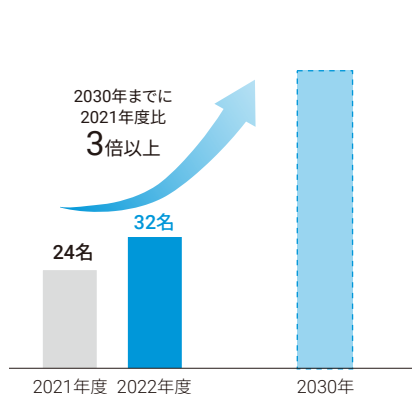
また、新卒採用者における女性比率増加により、他年代に比べて特に30歳未満の女性比率が高くなっています。出産・育児などライフイベントを迎えても安心して働き続けられるよう各種制度の周知や相談窓口での相談を受け付けるとともに、より働きやすい制度づくりやキャリア形成支援に取り組んでいます。



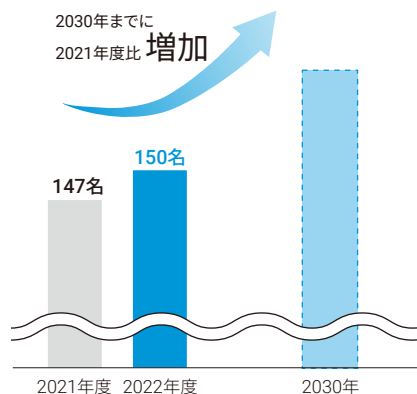
女性社員のキャリア形成支援の一環として女性執行役員との座談会を継続開催中

p.71 多様なCDP
p.74 ワークライフバランスの実現

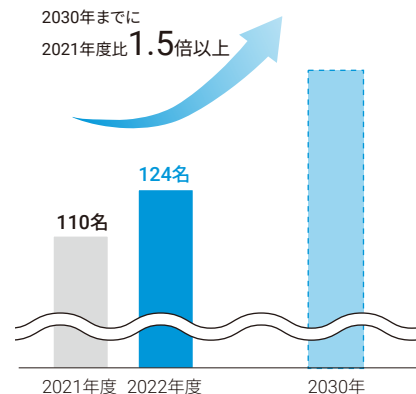
女性の役付社員への登用



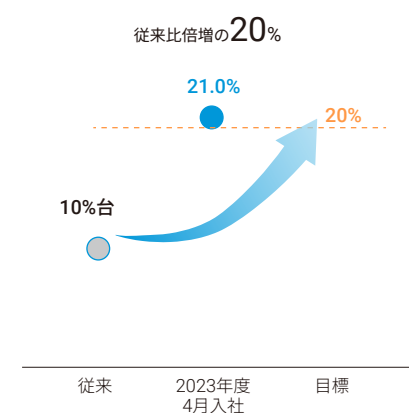
外国人役付社員への登用



経験者採用者の役付社員への登用



新卒採用者に占める女性比率



多様な人財の確保・活用 (ダイバーシティ&インクルージョン)



人の尊重

外国人・経験者採用

海外事業は主力事業の一つであり、現地法人における採用などJ-POWERグループ全体で、外国人の役付社員を増加させます。また、当社は過去30年以上にわたり、経験者採用に取り組んできました。最近是国内外で再生可能エネルギー開発をはじめ新規のプロジェクトが増えているため、プロジェクトマネジメント、ファイナンス、法務、海外事業、DX、燃料・資材調達などさまざまな分野・業界から、即戦力となる経験者の採用を強化しており、2030年までに経験者採用の役付社員を2021年度(110名)の1.5倍以上とする目標です。

シニア雇用・若年層の労働条件向上

2021年より、定年年齢を段階的に65歳まで引き上げています。労働意欲を持つシニア層の活躍を図り、専門的な知識や経験を事業の発展に活かしていきます。継続雇用制度やグループ内で就労先を紹介する人財登録制度(70歳到達年度末まで利用可能)の利用者は、2023年3月末現在で459名(J-POWERグループ)となっています。

若年層に対しては、労働条件の向上に継続的に取り組むとともに、自律的なキャリア形成の支援を通じて、納得感をもって仕事ができる仕組みを目指しています。

障がい者雇用

2023年6月1日現在における当社の障がい者雇用率は2.34%(当社)となっています。「障がい者就労支援・職場環境相談窓口」の設置や、事業所建物のバリアフリー化など、就業環境整備や職場の理解促進に取り組んでおり、今後も雇用率の上昇に努めていきます。

Column

グローバルな人財の相互協力—J-POWERグローバルアセット会議

J-POWERグループの海外発電事業では各拠点で採用した現地法人の社員や現地パートナー企業の社員など、その国や地域の状況を熟知した人財が発電所の運営を担っています。こうしたグローバルな人財が一堂に会して情報交換をすることを目的に「J-POWERグローバルアセット会議」を開催しています。各拠点で中核となる人財が集まり技術的な課題やノウハウを共有するとともに、J-POWER本店と各国の人財のコミュニケーション活性化も図っています。

2022年度はタイ・米国の現地法人から運営・保守責任者と、J-POWERの国際事業本部のエンジニアの計16名が参加しました。共通課題である安全管理や設備故障から得た教訓、遠隔監視と性能分析システムなどについて発表、意見交換を行いました。また、各国の取り組みや改善事例を自国の発電所で適用できるかの検討を行いました。翌日にはメーカーの工場を訪問し、最新型ガスタービンの実証設備の見学などを行いました。

こうした取り組みを通じて、グローバルな人財が協力し合いながら、海外発電資産の収益力向上に繋がっていきます。



各国発電所の事例を共有



タイ国と米国から参加



2019年度開催の様子(橘湾火力発電所の見学)



2019年度開催の様子(朝礼でラジオ体操を体験)